

さくら学級 社会科 学習指導案

日 時 2025 年 9 月 12 日 (金)
第 5 校時 13:30～14:20
対 象 さくら学級 25 名
会 場 さくら学級 第 3 教室

1 単元名 選挙ってなんだろう？

2 単元の目標

- ・選挙の仕組みを理解する。
- ・投票方法を理解する。
- ・授業に積極的に参加し、自分の考えをもとうとする。
- ・選挙について関心を持ち、主体的に考える態度を養う。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①選挙の仕組みを理解する。	①誰を選ばよいか、自分で考えて投票することができる。	① 授業に積極的に参加し、自分の考えをもとうとする

4 単元指導計画（全 1 時間扱い）

時	目標	学習内容 ・ 学習活動	評 価
第 1 時 (本時)	・選挙の仕組みを理解する。 ・自分の考えをもち、投票する。	・選挙に 2 つの種類があることとその仕組みを理解する。 ・実際に例を出し模擬選挙を行うことで自分の考えを踏まえた投票を行うことができる。	ア - ①【観察（質問）】 イ - ①【フォーム】 ウ - ①【観察】

5 生徒が主体的に学び続けるための工夫（協働的な学び）




- ・立候補者の公約を見て、「どんな良いところがある？」「みんなが学校生活を送りやすいのはどれ？」など、互いの意見を共有する時間を作る。
- ・模擬選挙を行い、一人の候補者を選んで投票をさせる。
- ・模擬投票の結果だけではなく、自分が大切にしたいことを振り返り、自分の価値観に基づいて選ぶ経験を積む。
- ・集団の一員として、自らの考えを投票という形で表す「選挙」というものの仕組みや意味を理解させ、将来の社会参画へつなげる。

6 本時の指導（全 1 時間中の 1 時間目）

（1）本時の目標

- ・選挙の仕組みを理解する。
- ・自分の考えをもち、投票する。

（2）本時の展開

	○学習活動 ◎主体的に学び続けるための視点	□指導上の留意点 ◆評価
導入 5 分	○本時のねらいを確認する。	□次の時間で生徒会選挙が行われることを意識させる。
展開 40 分	○「選挙」と聞いてイメージするものを考える。	□間違った発言をしても発言したことを褒め、意見を言いやすい雰囲気をつくる。
	○選挙とはなにかを知る。	◆ア - ①【観察（質問）】
	○どうして選挙をするのか考える。	□身の回りの法律がだれによって考えられているか。そして、その人物をだれが決めているのか考えさせる。
	◎立候補者のマニフェストを聞いて、フォームで一人に投票する。 	□生徒が投票できるように、フォームを用意しておく。
	○結果をグラフ示す。	□誰に投票したか他の生徒に教えないよう、助言する。
		◆イ - ①【フォーム】
		□立候補者のマニフェストが「自分にとって大事だと思うこと」と結びつける発問をする。
まとめ 5 分	○生徒会選挙に出る立候補者のマニフェストに関心をもち、生徒会選挙をむかえる。	◆ウ - ①【観察】
		□自分の票が大切な一票であることを伝える。